

様式第3 (第52条関係)

第一種フロン類充填回収業者のフロン類充填量及び回収量等に関する報告書

令和7年 〇月 〇日

奈良県知事 殿

奈良県に登録している住所、氏名(法人名)を記入 ※「登録(更新)通知書」を確認

(郵便番号) 〇〇〇-〇〇〇〇
住所 〇〇県〇〇市〇〇番地
氏名 〇〇株式会社
代表取締役 〇〇〇〇〇

(法人にあつては、名称及び代表者の氏名)

年度当初、年度末に保管していたフロン類がある場合は、機器からのフロン回収の実績がない場合でも「3. 実績あり」にチェックを入れ、下表へ記入 (HCFC,HFCも同様)

電話番号 〇〇〇〇-〇〇-〇〇〇〇
登録番号 29XXXXXXXX

※登録番号は29から始まる9桁の番号です

フロン類の使用の合理化等のための適正化に関する法律第47条第3項の規定に基づき、次のとおり報告します。

フロン類の種類ごとの充填量・回収量実績の有無

Table with 3 rows (CFC, HCFC, HFC) and 4 columns (Charging, Filling, Recovery, Discharge) with checkboxes for '実績あり' and '実績なし'.

上表で「記入必要」となった欄のみ下表へ

CFC (HCFC・HFCについても同様です)

整備のために一旦回収したフロン類を同一機器に再充填する場合は台数：1台 充填した量：0kg と記入

「0」も記入・充填量及び回収量は小数点第一位(小数点第二位四捨五入)まで記入

Table for CFC types: (1) エアコンディショナー, (2) 冷蔵庫・冷凍機器. Columns: 設置, 設置以外. Rows: ① 充填した量.

整備のために一旦回収したフロン類を同一機器に再充填する場合は台数：1台 回収した量：0kg と記入

Table for B欄: (1) エアコンディショナー, (2) 冷蔵庫及び冷凍機器, (3) 合計. Columns: 整備, 廃棄等. Rows: ② 回収した量, ③ 年度当初に保管していた量, ④ 第一種フロン類再生業者に引き渡した量, ⑤ フロン類破壊業者に引き渡した量, ⑥ 法第50条第1項ただし書の規定により自ら再生したフロン類の量, ⑦ 第49条第1項に規定する者に引き渡した量, ⑧ 年度末に保管していた量.

③、④、⑤には昨年度の報告書の「年度末に保管していた量」の欄に記載した量を記入

「年度当初に保管していた量(③、④、⑤)」 「年度末に保管していた量(⑧、⑨、⑩)」には、機器から回収したフロン類の量のみ記入 (充填用に購入したフロン類の量は含まない)

裏面へつづく

Table for 法第41条の規定によりフロン類が充填されていないことの確認を行った第一種特定製品の台数. Columns: (1) エアコンディショナー, (2) 冷蔵庫及び冷凍機器, (3) 合計. Row: 0 台.

確認事項

CFC (HCFC・HFCについても同様です)

A欄		(1) エアコンディショナー		(2) 冷蔵機器及び冷凍機器		(3) 合計		
		設置	設置以外	設置	設置以外	設置	設置以外	
	CFCを充填した第一種特定製品の台数	2台	+	0台	=	2台	1台	
	①充填した量	12.3 kg	0.0 kg	0.0 kg	0.0 kg	12.3 kg	0.0 kg	
B欄		(1) エアコンディショナー		(2) 冷蔵機器及び冷凍機器		(3) 合計		
		整備	廃棄等	整備	廃棄等	整備	廃棄等	
		5台	0台	6台	10台			
		②回収した量	0.0 kg	98.9 kg	20.4 kg	0.0 kg	20.4 kg	98.9 kg
		③年度当初に保管していた量					0.6 kg	10.1 kg
		④第一種フロン類再生業者に引き渡した量					0.0 kg	0.0 kg
		⑤フロン類破壊業者に引き渡した量					20.1 kg	99.3 kg
		⑥法第50条第1項ただし書の規定により自ら再生し、充填したフロン類の量					0.0 kg	0.0 kg
	⑦第49条第1項に規定する者に引き渡した量					0.0 kg	0.0 kg	
	⑧年度末に保管していた量					0.9 kg	9.7 kg	

A,C,E欄:設置、設置以外、B,D,F欄:整備、廃棄等ともに
(1)エアコン+(2)冷蔵・冷凍機器=(3)合計
となっているか

B,D,F欄:整備、廃棄等ともに

(CFC) ②+③=④+⑤+⑥+⑦+⑧

(HCFC) ⑩+⑪=⑫+⑬+⑭+⑮+⑯

(HFC) ⑱+⑲=⑳+㉑+㉒+㉓+㉔

となっているか

※合計が一致しない場合、セルがピンク色になります。

- ・直接、フロン類再生業者へ引き渡した量 → ④ or ⑫ or ⑳へ記入
- ・直接、フロン類破壊業者へ引き渡した量 → ⑤ or ⑬ or ㉑へ記入
- ・回収したフロン類を自ら再生し、機器の設置や整備時の充填に利用した量 → ⑥ or ⑭ or ㉒へ記入
- ・フロン類再生業者または破壊業者への運搬を代行する業者へ引き渡した量 → ⑦ or ⑮ or ㉓へ記入
- ・R6年3月31日時点で自社内で保管している量 → ⑧ or ⑯ or ㉔へ記入

※④、⑤、⑦及び⑫、⑬、⑮及び⑳、㉑、㉓の記載に当たっては、引き取った者から交付された証明書を確認すること等により、記載する欄や数値に間違いのないよう記載いただきたい。

【参考】フロン類の種類と主な冷媒番号

CFC	R11、R12、R13、R113、R114、R115 など
HCFC	R22、R123、R124、R403A、R406A、R409A、R412A、R509A など
HFC	R23、R32、R125、R134A、R143A、R404A、R407C、R407E、R410A、R507A、R508A など